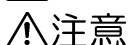
補足説明書

DAYTONA corp.

R77446①/⑩

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この補足説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの補足説明書も併せてお渡しください。

TUCANO URBANO TERMSCUD（レッグカバー） R050	適応車種	商品NO.
	ＦＯＲＺＡ （ＭＦ08/10）	77446

◎この説明書は TUCANOURBANO 社の取扱説明書を補足するものです。

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※　補足説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

禁止	禁止の行為であることを告げるものです。	実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
破裂注意	表記の注意を告げるものです。	法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。
その他	その他の警告及び注意を告げるものです。		

⚠警告

禁止

- 走行中にレッグカバーがずれたり、緩んだり等の異常をきたした場合は、必ず車両を停車させてからレッグカバーを正規の装着状態に整えてください。走行しながらレッグカバーを整える行為や異常をきたした状態での使用は大変危険です。
- レッグカバーの装着により横風の影響を受けやすくなります。強風時に車体がふらつき、**安全な走行ができない場合は、直ちに本品の使用を中止してください。**
- 法定速度は必ず遵守してください。法定速度以上で走行するとレッグカバーがバタついて、走行に支障をきたす場合があります。

実施

- レッグカバーを使用する際は、走行前に**素早く足を出す練習**や、**すべての操作が安全にできること**をしっかりと確認してください。
- 調整ベルトをシートと体で挟み、密着性を上げる際は通常の使用時よりも停車時に足が出しにくくなります。**足を出す練習**を再度行ってください。
- 走行前に毎回タイヤ、ハンドル周り等への接触がないか、ハンドル操作に支障がないか、ベルトの緩みやベルトの端が垂れていないか、足が出せるか、本品やベルトの固定等がしっかりできているか、すべてのネジとボルトが締まっているかを確認してください。また、**異常がある場合はレッグカバーの使用を中止してください。**
- レッグカバーが破れた状態やベルトが外れてしまった状態での使用は危険ですので絶対にお止めください。

- レッグカバー調整後、ベルトを緩まないように結ぶか、結束バンド等で固定してください。固定後に余ったベルトの端は走行に支障がない長さで切り、ほつれないようにライター等で炙ってください。固定せずに走行しますと、ベルトが緩んだり、ベルトの端が車体や道路上の様々なものに引っ掛かる可能性があり、大変危険です。

2012/11/02

⚠注意

法令違反

- レッグカバーの装着により、ウインカーやヘッドライトの機能を損うことが無いように装着してください。道路交通法に抵触しますので、十分ご注意ください。また、それらの機能を損うような車両には、レッグカバーを装着しないでください。

破裂注意

- 本品のS.G.A.Sに空気に入れて膨らませる際は、高い圧力をかけないようにしてください。破裂する恐れがあります。

その他

- 何らかの異常があった場合は使用を中止してください。
- 本品を取り付けする前にレッグカバーの適合を各販売店や弊社ホームページにて再度確認してください。
- 説明書に従ってレッグカバーの取り付けを行い、レッグカバーの正しく安全な使用方法を確認してください。**安全な取り付けが確認出来ない場合は、認証整備工場等の整備士に取り付けを依頼してください。**
- TUCANOURBANO 社または弊社からの指示がない変更、改造をしないでください。
- レッグカバーを装着することにより、車種によっては収納ボックス（小物入れ）等やスイッチ類（社外品のスイッチ操作等を含む）の操作、メインキーの操作がやり難くなります。予めご了承ください。
- レッグカバーの装着により、燃料の給油がやり難くなる車両があります。給油の際は吹きこぼれにご注意ください。吹きこぼれによって起こった汚れや変色は**保証対象外**です。
- ボルトやビスは強く締めすぎたり、脱着を繰り返すことでねじ山が潰れてしまう可能性がありますので注意が必要です。
- 本品の適合は車両が純正の状態にて確認してあるため、社外部品を使用している場合取り付けできない可能性があります。
- 首掛けベルトは必ずライディングウェア等のウェアの上から掛けてください。直接肌に触れたままでの使用は、肌を傷める恐れがあります。
- 本品は防水性の生地を使用しており、防水性はありますが、雨の程度によっては縫い目等から水がしみ込む場合がございますので予めご了承ください。
- レッグカバーが汚れてしまった場合は、濡らしたタオルで拭き取ってください。汚れが酷い状態での使用は、カウルの塗装面を傷める原因となります。
- 経時変化あるいは使用損耗により、色あせ等の劣化が起こります。予めご了承ください。
- 本品を車体に取り付けた状態で、濡れたまま保管や、高温下での使用等はお控えください。**本品の繊維に含まれる染料等が車体を汚すこと**があります。これらの理由による車体への傷や汚れ等は**保証対象外**になるため、予めご了承ください。また、本品の繊維に含まれる染料等による衣服への汚れや色移りも**保証対象外**となります。
- 本品は車体のカウル等と直接接触する為、生地が擦れ、塗装面を傷つける可能性があります。また、再塗装・コーティングした車両は汚れや傷が付きやすくなります。これらの理由による傷や汚れ等は**保証対象外**になるため、予めご了承ください。

※ 弊社下記商品で車体を保護してのご使用をお勧めします。
ハイプロテクションシール
Ｌサイズ（２７５×４００mm）品番：１４１８０／￥２，５００（税抜）
Ｓサイズ（１３５×２００mm）品番：１４１８１／￥８００（税抜）

本商品の特長

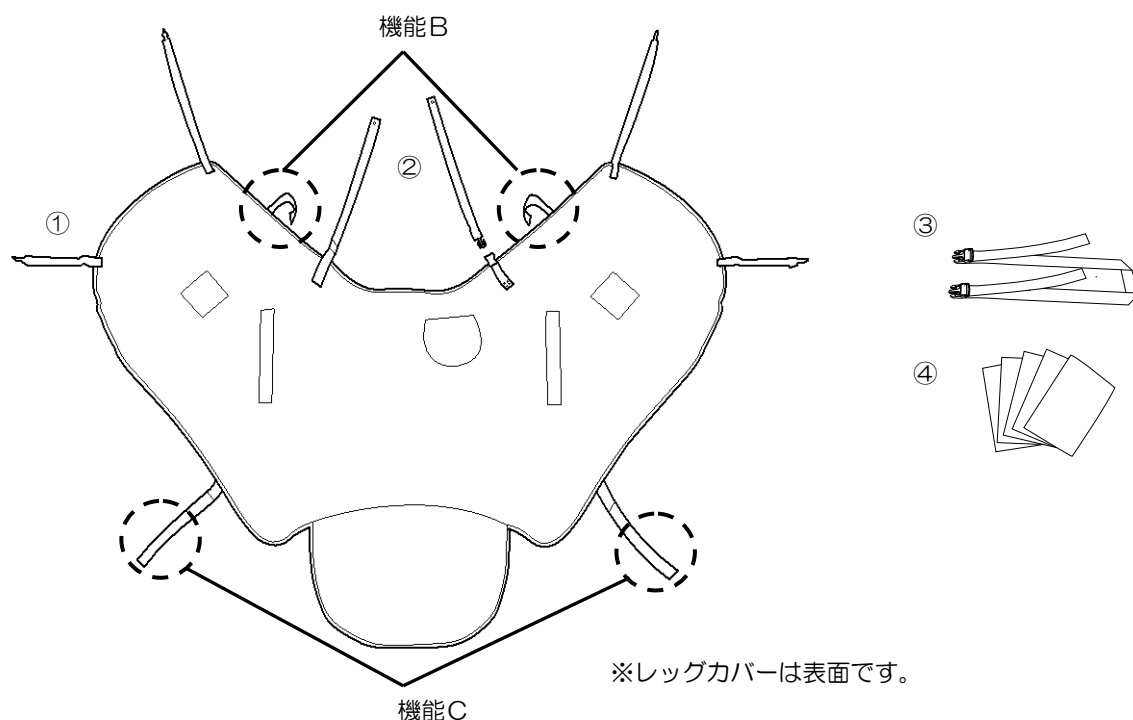
- 冬季にオーバーパンツをはかなくても、高い防寒効果を発揮します。
- レッグカバー左右に付いているチューブから、空気を入れるS.G.A.S機能で走行時のカバーのバタつきを抑えます。

使用方法

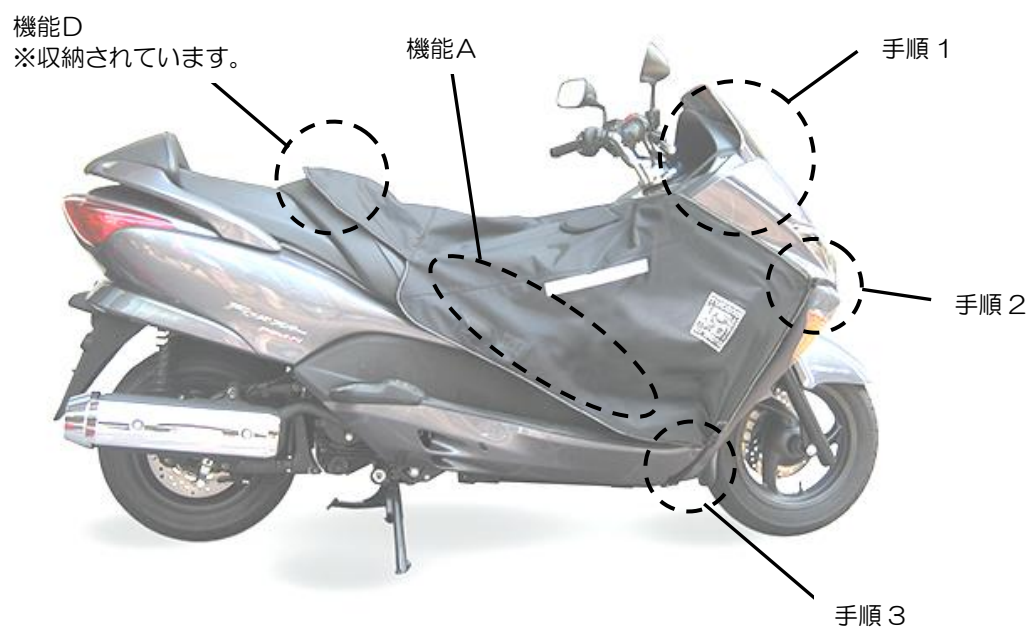
- レッグカバーを TUCANOURBANO 社の取扱説明書にしたがって車体に取り付けます。
- 前掛け部分を体にかけ、前掛け部分に収納されている首掛けベルトを首にかけて使用します。
- 毎回足をだす操作の確認をしてから、ご使用ください。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	ＴＥＲＭＯＳＣＵＤ		1	③	スクリーンベルト		1
②	パネルビスベルト		2	④	キズ防止シート	100×70	5

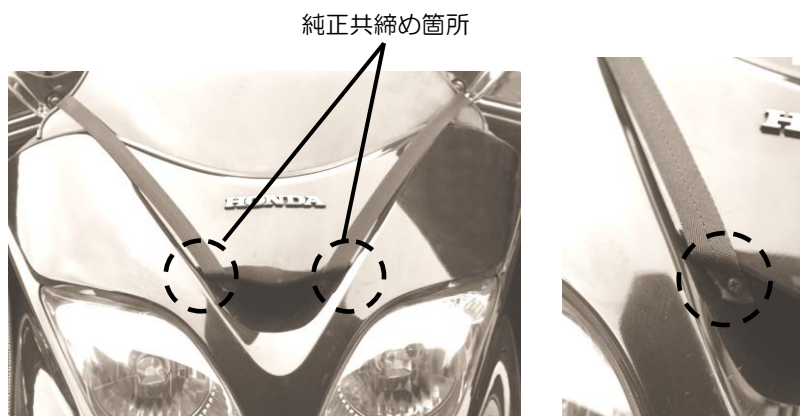
※レッグカバーは表面です。

取付方法

※ベルトの取り付け位置はＴＵＣＡＮＯＵＲＢＡＮＯ社の取扱説明書をご参照ください。

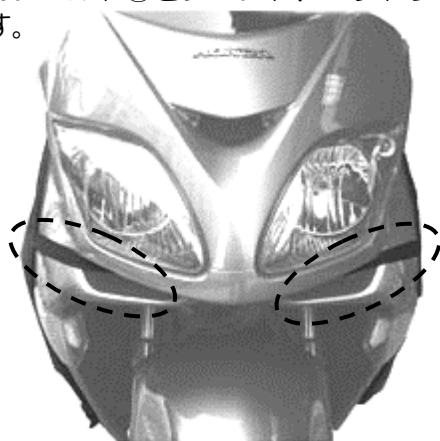
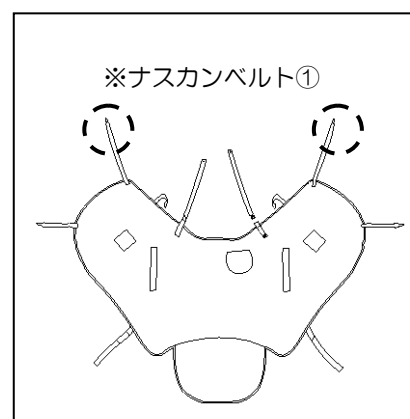
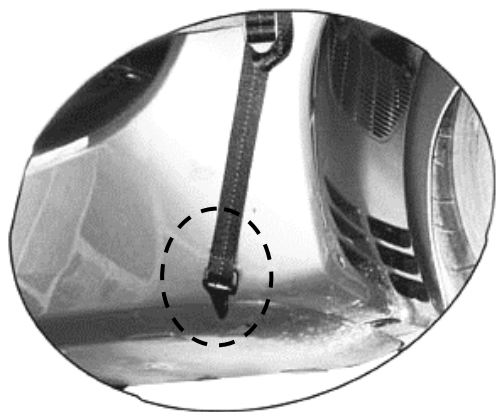
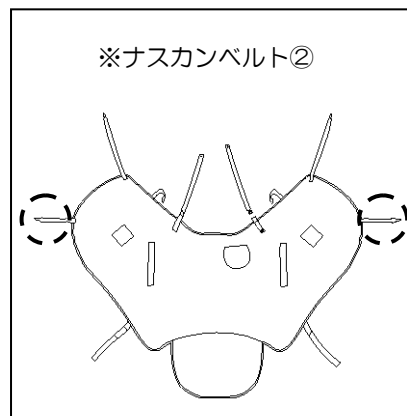
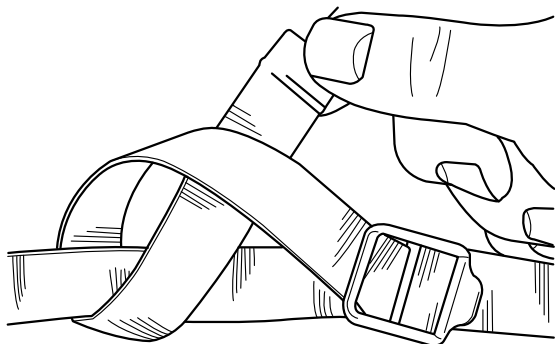
ＦＯＲＺＡ（前期　MF08-1000001～1299999）（後期　MF08-1300001～）

※装着状態参考例（R050）

1. 車両のシート上にカバーを広げ、②パネルビスベルトを車体前方の純正ビスに共締めします。
下記の写真をご参照して取り付けを行ってください。
※純正ビスのサイズに合わせてベルトの穴を広げてください。
※ボルトやビスは強く締めすぎたり、脱着を繰り返すことでねじ山が潰れてしまう可能性があります。
※下記の取り付け方法は TUCANOURBANO 社の説明書と異なりますが、弊社ではこの取り付け方法をお勧めしております。

（前期）

純正共締め箇所

※フロントパネル、スクリーン下

（後期）※ビスは一箇所ですが、レッグカバーの左右から前方に引いたパネルビスベルトをまとめて共締めしてください。

2. ナスカンベルト①をフロント、ヘッドライト下のダクトに前側から通し、カウル裏でバックルを固定します。

※ヘッドライト下、ダクト部

3. ナスカンベルト②を車体のサイドカウルに固定します。

※サイドカウル下

4. 両サイドにすき間がないよう、全てのベルトの増し締め、調整をしてください。
調整後、余ったベルトが緩まないようにしっかりと縛り、結束バンド等で束ねてください。固定後に余ったベルトの端は走行に支障がない長さで切り、ほつれないようにライター等で炙ってください。
※締め付け前にカウルへの傷を防止することをお勧めします。④キズ防止シートを付属させていますが、長期間貼り付けた状態や、車両の保管状況によっては貼り付け跡が残ります。

※余ったベルトの結び方

5. 車両にまたがり、足の出し入れ、ハンドル操作を行い、干渉や異常がないか確認し、レッグカバーの前掛け部に収納されている、首掛けベルトの長さを調整すれば作業は終了です。
※初めて走行する際は十分注意してください。また、取り付け後テスト走行を行い、ベルトの緩みやほつれを再度確認し、ボルトやビス、ベルトの増し締めを行ってください。

ＦＯＲＺＡ（ＭＦ10前期/後期）
※ＭＦ10前期フレームNO．ＭＦ10-1000001～1199999
※ＭＦ10後期フレームNO．ＭＦ10-1200001～

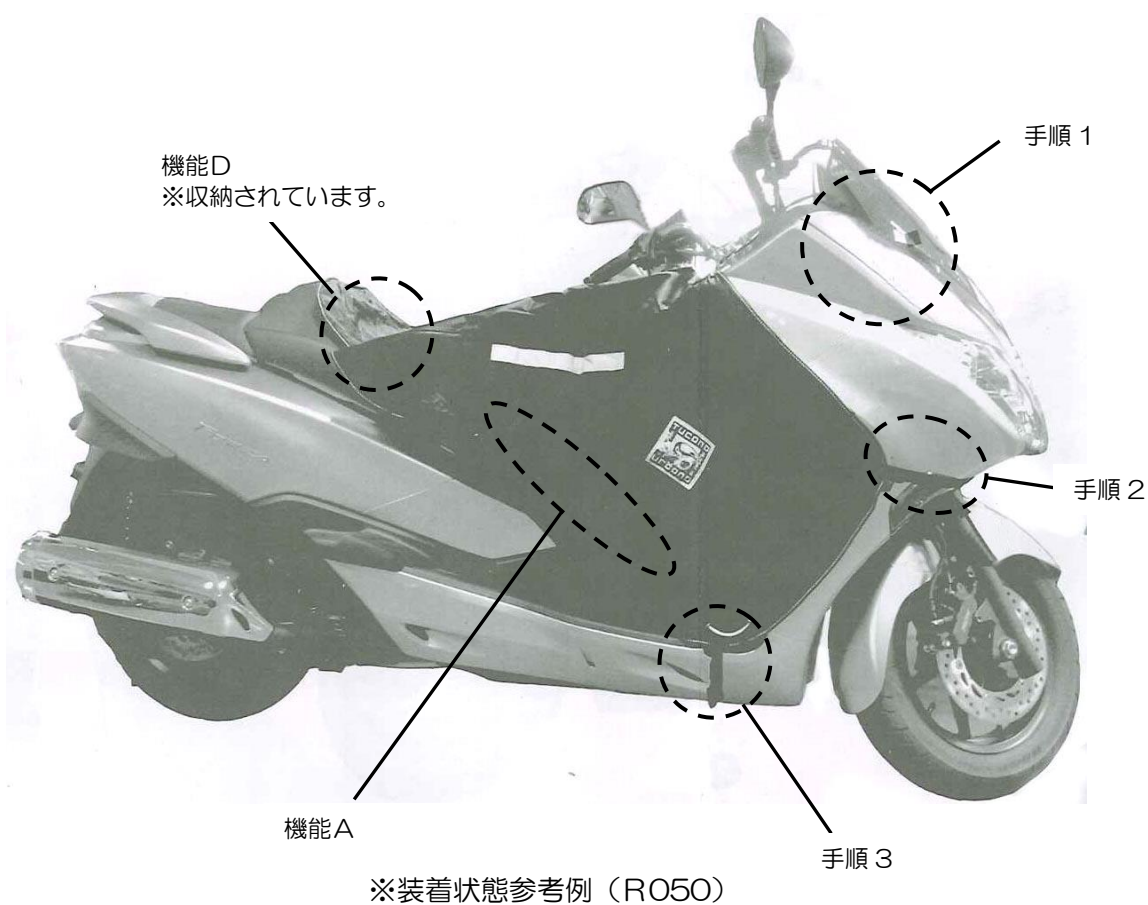
機能D
※収納されています。

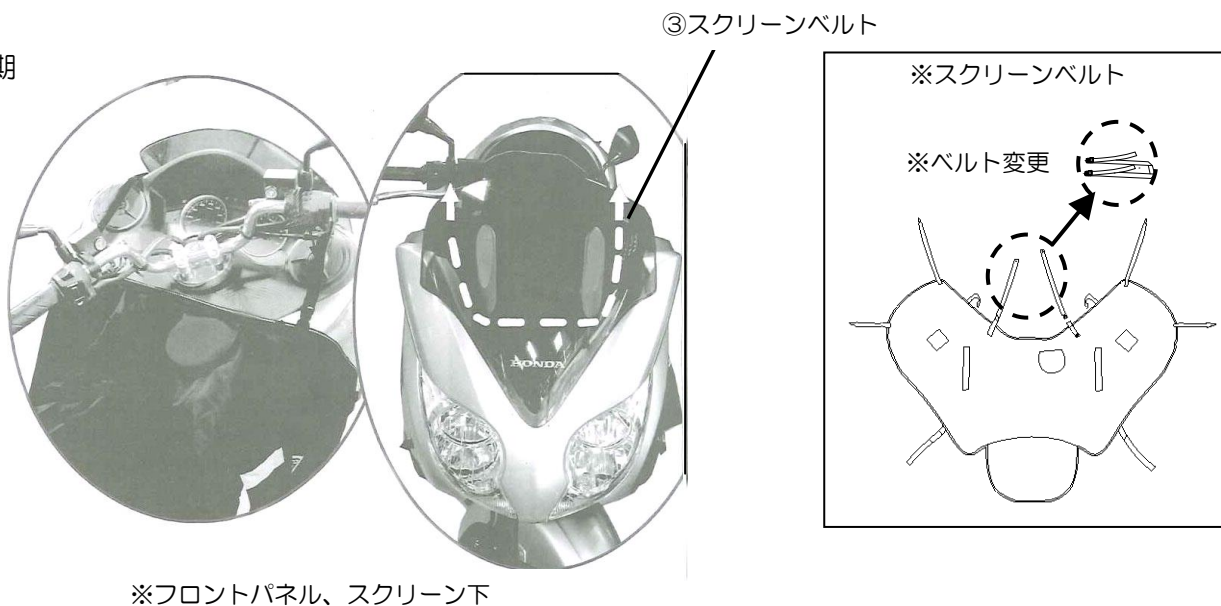
手順１

手順２

機能Ａ

手順３

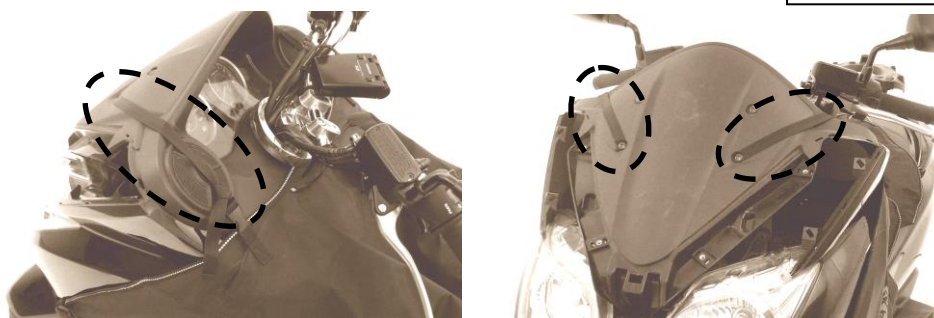
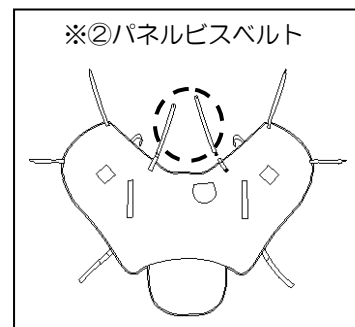
※装着状態参考例（R050）

（前期）
1. 車両のシート上にカバーを広げ、②パネルビスベルトを付属の③スクリーンベルトに付け替え、スクリーンステーに掛けて固定します。

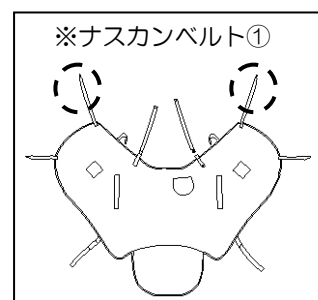
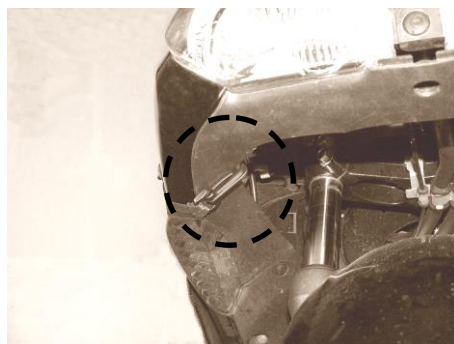
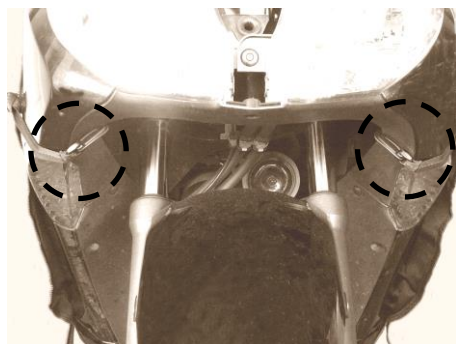
※フロントパネル、スクリーン下

（後期）

1. 車両のシート上にカバーを広げ、サービスマニュアルに従って、スクリーンを取り外し、②パネルビスベルトを純正ビスに共締めします。
※純正ビスのサイズに合わせてベルトの穴を広げてください。
※ボルトやビスは強く締めすぎたり、脱着を繰り返すことでねじ山が潰れてしまう可能性があります。

※取り外す必要がある部品

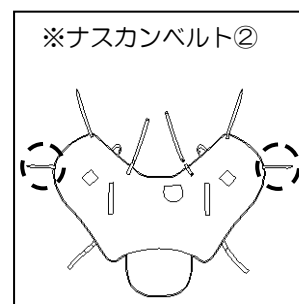
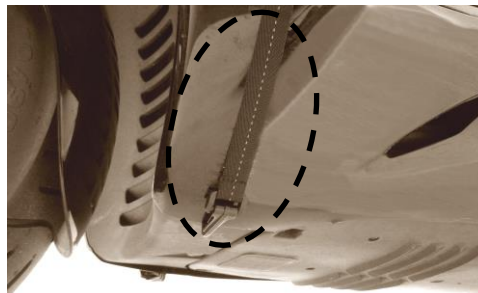
※②パネルビスベルト

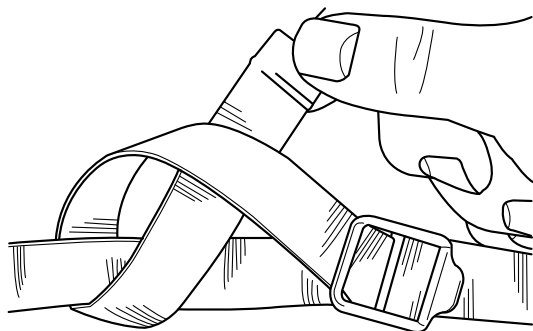
※フロントパネル、スクリーン下

（全期）

2. ナスカンベルト①をフロントウインカー裏のカウルにナスカンを引っ掛け、固定します。

※ナスカンベルト①

※フロントウインカー裏

3. ナスカンベルト②を車体のアンダーカウルに固定します。

※ナスカンベルト②

※アンダーカウル

4. 両サイドにすき間がないよう、全てのベルトの増し締め、調整をしてください。
調整後、余ったベルトが緩まないようにしっかりと縛り、結束バンド等で束ねてください。固定後に余ったベルトの端は走行に支障がない長さで切り、ほつれないようにライター等で炙ってください。
※締め付け前にカウルへの傷を防止することをお勧めします。④キズ防止シートを付属させていますが、長期間貼り付けた状態や、車両の保管状況によっては貼り付け跡が残ります。

※余ったベルトの結び方

5. 車両にまたがり、足の出し入れ、ハンドル操作を行い、干渉や異常がないか確認し、レッグカバーの前掛け部に収納されている、首掛けベルトの長さを調整すれば作業は終了です。
※初めて走行する際は十分注意してください。また、取り付け後テスト走行を行い、ベルトの緩みやほつれを再度確認し、ボルトやビス、ベルトの増し締めを行ってください。

その他機能

※機能説明の写真は参考例となります。

A) S.G.A.S システム

走行中にレッグカバーのバタつきが気になる際は、左右に付いているチューブ（S.G.A.S）に空気を入れることによりバタつきを抑えることができます。空気を入れる際は、あらかじめチューブを折り曲げる準備をしてから、空気をバルブから口で吹き込みます。蓋をする前にチューブを図 A のように折り曲げ、空気の流失を押さえながら蓋をし、バルブが入っていたポケットに収納してください。

※構造上、空気が自然に抜けますので、その際は再度空気を入れてご使用ください。

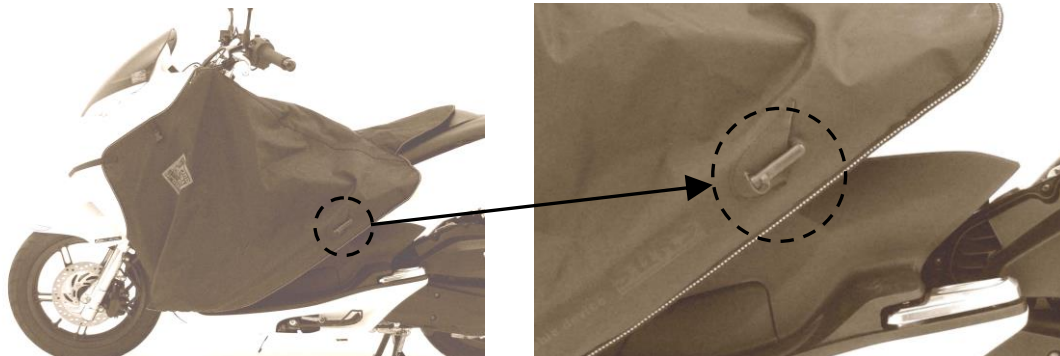
※高い圧力で空気を入れると、S.G.A.S が破れてしまう恐れがあります。（エアーコンプレッサー等不可）

※レッグカバー両サイドに付属しています。

図 A

B) 収納機能

レッグカバーを使用しない際は、レッグカバーを畳み、収納ベルトを使って束ねることができます。

※ レッグカバーの中央（図 B）から図 C、D の順に内側に巻くようにして束ねるとしっかりと収納できます。

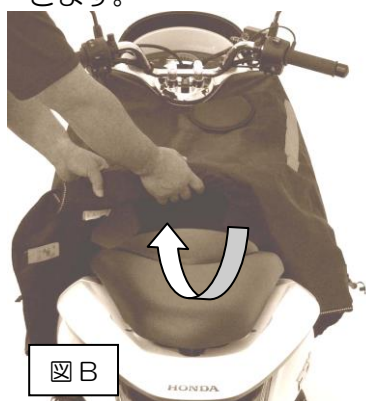



図 B

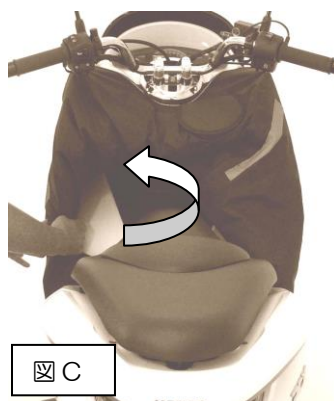



図 C

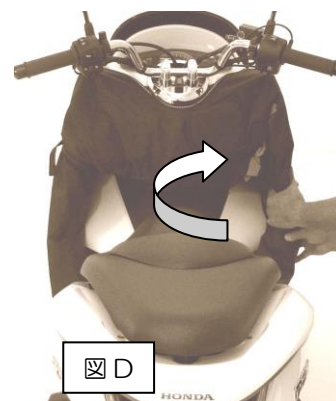



図 D

①前掛け部分から内側へ巻いてください。

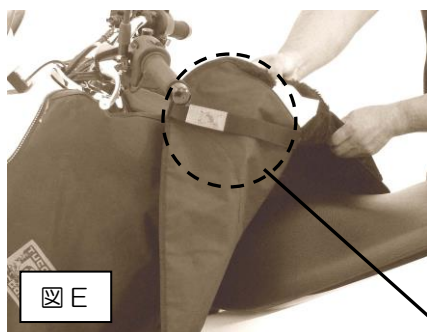
②次に左右部分を内側へ巻き付け、収納ベルト（黄色）で固定します。

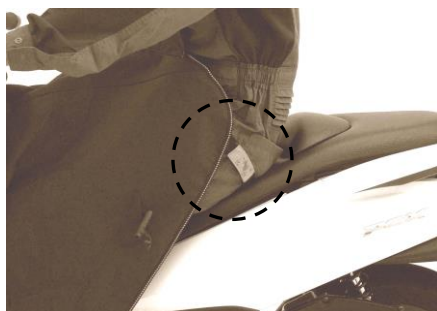
※収納状態参考例（側面）

※収納状態参考例（背面）

C) 調整機能

体への密着性をより求めたい場合は、レッグカバー内側にボタン留めされている調整ベルト（図 E）をお尻でおさえてください。

※この際、密着性は高まりますが、足の出し入れがやりづらくなるため、**弊社ではこの機能の使用はお勧めしておりません。**ご使用の際は十分に足を出す練習をしてからご使用ください。

※レッグカバー裏面　　※調整ベルト取り付け位置

調整ベルト

※調整ベルトをお尻でおさえてください。

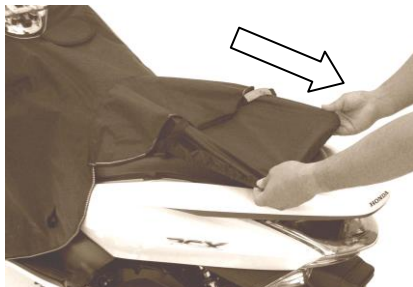
D) シートカバー機能

車両を停車させている際は、前掛け部分のポケットに収納されたシートカバー（図 F）を、シート後端に被せることで、シートが濡れづらくなります。

※取り付け状態により使用できない場合があります。また、汎用品の場合、車両によってはこの機能が使用できない場合があります。

※首掛けベルトはマフラーなどに干渉しないようにしまってください。

※レッグカバー前掛け部に収納されています。

※シート後端へ伸ばします。

※シート後端へ引っ掛けます。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで